

# 教育ボランティア ニュースレター

第18号

発行日 平成28年7月

## 今年も健康教育発表会で成果を発表しました！ —看護職の健康教育・学習スキルを学ぶ—

平成28年度も、多くの教育ボランティアさんに、本学の教育にご協力いただいております。このレターでは、健康学習論での学生の学びをお届けしたいと思います。

### 健康学習論とは

健康学習論は、保健師・看護師が行う活動展開方法の一つである健康教育・健康学習に必要な理論や方法論を理解することを目的とした科目です。科学的根拠に基づいた健康教育・健康学習の企画・実施・評価の一連の過程を学び、教育ボランティアの方に健康教育発表会を行います。教育ボランティアさんは西区・須磨区の方にご協力をいただきました。

「教育ボランティア」は、現在も募集中です。お友達やご近隣の方をお誘いいただき、是非学生の教育にご協力ください。

ご登録希望やお問い合わせは、神戸市看護大学 地域連携教育・研究センター  
：古谷（TEL：078-794-8080 代表）までお願いします。

編集・発行

神戸市看護大学

地域連携教育・研究センター

運営委員会

### 健康学習論

今年度の健康学習論は、主に保健師課程に関心のある3回生47名が履修しました。学生の学びの成果を発表する機会として、健康教育発表会を設けています。今年度は本学と北須磨地域の2つの会場で実施し、計32名（本学22名、北須磨地域10名）の教育ボランティアの皆さまにご参加いただきました。教育ボランティアの皆さまには、看護師・保健師役の学生に対して、健康教育の対象者役になりきってご参加いただきました。

今年度の学生が設定した対象者とテーマは、主婦を対象とした「腰痛予防」、高齢者を対象とした「口腔内の健康維持」、成人期世代を対象とした「高血圧予防」など様々でした。それぞれの学生グループは、それぞれの対象となる人たち（教育ボランティアの皆さま）に伝えたいことが伝わるように、資料（媒体）の大きさやわかりやすさ、話すスピードや声の大きさなど練習を積んだ上で健康教育発表会に臨みました。学生の発表後には、教育ボランティアの皆さまから様々な貴重なご意見をいただきました。アンケートからは、「学生が一生懸命実施している姿がとても良かった」、「たくさん練習をして発表会に臨んでいることがよくわかる内容だった」、「今日の内容を知り合いにも伝えたい」など肯定的に評価される方がほとんどでした。また、教育ボランティア全員が、来年度も発表会に参加したいと答えてくださいました。学生達からは、「教育ボランティアさんからたくさんのご意見をいただき、客観的に自分達の発表を評価することができた」、「対象者に伝えることの難しさを実感することができた」、「練習の成果をボランティアさんが高く評価してくださって嬉しかった」などの感想がありました。発表会までの準備は大変でしたが、学生は対象の特性に合わせてどのように伝えればよいかをしっかりと考え、発表会で教育ボランティアの皆さまからご意見をいただき、いただいたご意見を踏まえてきちんと振り返りを行うことができました。それらの過程を通して、本科目の目的である「対象者の特性に応じた、根拠に基づいた健康教育・健康学習の企画・実施・評価の一連の過程を学ぶ」を理解できたのではないかと思います。

多くの教育ボランティアの皆さまにご参加いただき、貴重なご意見をいただけましたことを心より感謝申し上げます。

（文責：地域・在宅看護学分野 山下 正）



【健康教育発表会の様子】